

林業ミニ情報 No.159

令和2年11月

- 1 コンテナ苗ラックの使用結果 1
(笠間林業指導所 菊池)
- 2 鹿嶋市立中野東小学校で森林林業体験学習を実施 3
(鉾田林業指導所 宇都木)

R2.林業ミニ情報(令和2年11月)

(笠間林業指導所 菊池 正浩)

タイトル	コンテナ苗ラックの使用結果
年月日	令和2年8月3日(月)
場所	笠間市大橋地内
内容	<p>笠間林業指導所では、県林業種苗協同組合とともに、コンテナ苗の新たな運搬方法として「コンテナ苗ラック」(以下、「ラック」)の開発をしてきましたが、今回笠間広域森林組合の協力を得て、笠間市大橋地内の再造林地で、運用性の試行を行ったので紹介します。</p> <p>この現場では、森林施業の集約化と森林経営計画に基づく計画的な森林整備が進められています。林内には、林業専用道及び林内作業路が整備されており、本年の春に主伐した跡地へコンテナ苗を植栽しました。</p> <p>今回の事例では、森林組合が軽トラックで、苗木を生産者宅へ受け取りに行きました。苗木は苗畑であらかじめラックに収納されており、生産者がフォークリフトを使用して、手伝いの必要も無く、軽トラックに積み込み作業を短時間で行えました。</p> <p>植栽する場所は、専用道を起点に林内作業路を500m程入った所にあります。今回は、専用道にグラップル付きフォワーダを待機させ、軽トラックを横付けしてラックを積替えました(1分弱)。次に、苗木を傷めないようスピードに注意しながら運搬しました(往復・6分弱)。到着後は、グラップルでラックを地上へ下ろし、人力で荷卸しを行いました(1ラック3千本の場合・約4分)。専用道で積み替え、現場に荷卸したフォワーダが戻ってくるまでに要した時間の合計は約11分でした。</p> <p>一方、従来の段ボール箱で梱包した3千本を、運搬車(800本積載)で4往復して運んだ場合の所要時間は、約120分でした。</p> <p>以上のことから、ラックとグラップル付きフォワーダを使用することで、人力作業の縮減と運搬時間の短縮が図られ、低コスト化が期待できます。</p>





軽トラックからフォワーダへの積み替え状況

普及成果

開発した「コンテナ苗ラック」の実用性を確認することができた。
今後、当林業指導所としては、県林業種苗協同組合とともに森林組合等の協力を得て、より効率的な運搬方法と機器の改良を進めていきます。

R2.普及三二情報(令和2年11月)

(鉾田林業指導所 宇都木 景子)

<p>タイトル</p>	<p>鹿嶋市立中野東小学校で森林林業体験学習を実施</p>
<p>年月日</p>	<p>令和2年11月12日(木)</p>
<p>場所</p>	<p>鹿嶋市立中野東小学校</p>
<p>内容</p>	<p>去る11月12日(木)、鹿嶋市立中野東小学校の6年生39名を対象に、森林や森づくりに関心を持ってもらうため、森林・林業についての講話と木工工作による森林林業体験学習を実施しました。</p> <p>はじめに講話を行い、パワーポイントを用いて、森林の働きや林業について説明をしました。クイズ形式による説明では、児童も手を上げるなどして参加し、森林や林業に興味を持った様子でした。</p> <p>その後、茨城県のスギ材による本棚づくりを行いました。釘と金槌を使った組み立て作業に慣れていない児童も多く、なかなか釘が刺さらなかったり、真っ直ぐに釘を打てなかったりと苦労する様子も見られましたが、一生懸命取り組んでいました。出来上がった本棚に、児童たちは、満足そうに手触りを確かめたりして、木の良さを感じている様子でした。</p> <p>今回、本立て作りを通して、木の香りとぬくもりを体験することができ、森林を大切にすることを理解してもらえたと思います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="427 1167 863 1496">  <p style="text-align: center;">講話の様子</p> </div> <div data-bbox="959 1167 1394 1496">  <p style="text-align: center;">本棚の組み立ての様子</p> </div> </div>
<p>普及成果</p>	<p>今回の体験学習は、検温や換気、マスクの着用など新型コロナウイルス感染症対策を行い実施しました。このような中での体験学習実施でしたが、児童たちには、森林林業を身近に感じてもらうことができました。</p> <p>当林業指導所では、新型コロナウイルス感染症対策を実施しつつ、今後も次世代を担う子どもたちの森林・林業に関する関心、理解を深める取組を行ってまいります。</p>